

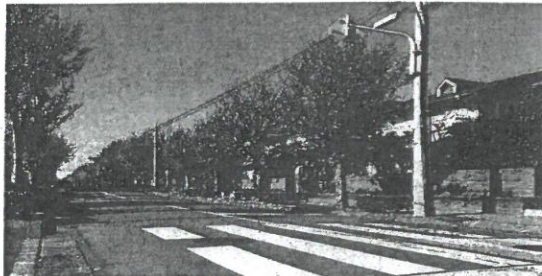
平成 31 年 2 月 2 日

柏ビレジの皆様へ



柏ビレジ自治会 広報部

柏ビレジが、「平成 30 年度 第 14 回 住まいのまちなみコンクール」にて、国土交通大臣賞を受賞した記事が「柏市民新聞」（平成 31 年 1 月 25 日付）に掲載されましたのでお知らせします。



自然溢れ赤レンガで統一された柏ビレジ

柏ビレジ自治会に国交大臣賞 住まいのまちなみコンクール

「第 14 回住まいのまちなみコンクール」の審査結果が 10 日に発表され、柏ビレジ自治会が国土交通大臣賞に選ばれた。地域の特性活用や魅力的な街並みを守る維持管理を行う住民組織を表彰するもの。柏ビレジは昭和 56 年に入居開始された住宅地で、同自治会と住民が当時の建築協定を順守しながら景観を守り続けてきた。審査でも高く評価されており、自治会の竹田会長（88）は、「住民全員の「まちなみをよきよき」という努力が、当時の魅力的な景観を維持してきた。評価されたい。誰かの「柏ビレジに住みたい」との思いにつながれば」とした。

柏ビレジ地区は、約 64 丁、街路樹は春夏に緑で溢れ、約 1,600 戸の住宅。溢れ、秋は紅葉が染み加で囲まれ、アイビーがある。分譲開始初から「まちなみ」として、副会長（72）は「きれいな街並みと統一感をもたらすとして、アンテナ共視

全街並み多様が気に入って住まはじめました。住戸 1 年目と隣り合わせでもきれいなまちなみと魅力を誇る。緑溢れがゆえに管理は容易だが、住民一丸で取り組む。竹田会長によくと、年々回の清掃活動があり、そのほかにも、自治会に連なる各邸で、枝木の剪定やゴミ出しまで協力し、街並みの維持管理に努めている。

かつては、地上波テレビのアンテナが景観を乱すとして、アンテナ共視

貯積を作り、屋根の上に設置しないよう協定を結んだ。統一感のない建築物を建てないよう協定も結んでおり、今も新築を立てる場合は審査が必要で、住民間で議を尽くしている。皆さんこのまちなみ景観に誇りを持っている竹田会長。コンクール応募の際、キャッチフレーズを「住民が育て、未来へつなぐ赤レンガアイビーに囲まれた緑豊かな美しいまち」とした。現地を訪れた大学教授や国交省官庁からは、「フレンドリーな景観を高く評価した」と。近年は、筑波大学協働で高齢化をテーマにした「まちなみ」について調査もする。「表彰をきっかけに、多くの人がまちなみをしようという気持ちをもっともらえれば」と竹田会長。コンクール応募もまた、愛するまちを維持する想いの表れだ。

「柏市民新聞社」
 所在地 柏市東上町
 設立 昭和 31 年
 発行物 柏市民新聞（月 2 回）
 部数 1 万部